

■ 提案要求事項一覧（評価項目一覧）

提案書の目次		提案要求事項	評価区分	得点配分			評価基準	
大項目	中項目			合計	基礎点	加点点	基礎点評価の観点	加点点評価の観点
1 業務の目的、内容、および実施方法	1.1 業務目的	・業務の目的が、提案依頼書内の今後の業務の方向性と合致しているか	必須	10	10	0	・提案内容が、福島相双復興推進機構（以下、機構と呼ぶ）から提示する仕様書2.記載の業務目的と合致しているか	
	1.2 業務内容	・業務の内容が、提案依頼書内の業務委託内容と合致しているか	必須	40	10	30	・提案内容が、機構から提示する仕様書3.の業務内容を網羅した内容となっているか	・業務の内容が個別具体的に記載されており、妥当性や実現性を理解／判断しやすい内容となっている ・機構の置かれた状況、規模などを踏まえて、業務内容が具体的にカスタマイズされている ・業務の中で機構に対して提示するアウトプットの内容やイメージが、具体的である
	1.3 業務実施方法	・業務実施方法が、業務目的、業務内容と整合しているか	必須	60	10	50	・提案内容が当機構から提示する仕様書に定める業務目的・業務内容の各項目に沿った具体的な業務実施方法となっているか	・目指すゴールを達成するための方法、アプローチ、ステップなどが具体的である ・ゴール達成に向けた新たな取組みや仕組みを立案し、実現させるためのアイデアや仕掛けが見られる ・業務の品質向上や効率化を図るためのアイデアや仕掛けがみられる ・支援する中でリスクを事前に抽出し対策を打てる仕組みが構築されている
2 業務実施計画	2.1 業務実施計画	・業務実施計画が、提案依頼書内の計画と合致しているか － 提案依頼書内の業務開始時期・期間と合致しているか － 作業内容ごとの実施期間とマイルストーン、報告時期（必要な場合）が記載されているか ・業務実施計画が、妥当であることの根拠（人員・手順等）が具体的に示されているか ・業務実施手順について、効率的に実施するための工夫が示されているか	必須	25	5	20	・提案する業務実施計画が、仕様書各項目と合致して以下の内容を網羅した内容となっているか － 提案依頼書内の業務開始時期・期間と合致しているか － 作業内容ごとの実施期間とマイルストーン、報告時期（必要な場合）が記載されているか － 業務実施計画に、妥当であることの根拠（人員・手順等）が具体的に示されているか － 業務実施手順について、効率的に実施するための工夫が示されているか	・ドローン航路構築計画の将来を見据えた戦略策定、マネジメントがある
3 業務実施体制	3.1 業務実施体制・役割分担	・業務の実施体制図及び役割が、業務内容、実施方法と整合しているか ・要員数、役割分担が明確か ・業務遂行可能な人数が確保されているか	必須	25	5	20	・事業の実施体制図及び役割が、提案する事業内容、実施方法と整合しているか － 要員数、役割分担が明確か － 事業遂行可能な人数が確保されているか	・業務の品質を担保・向上するための体制を備えている ・機構からの要望等に、迅速なるレスポンス及び柔軟に対応可能な体制を備えている 例えば、欠員が出る等不測の事態が生じた場合でも、継続して事業を実施できる体制である 例1：欠員と同程度のスキルを持った人員をアサインできる 例2：事業の進捗状況を組織内で共有しており他人員への引継ぎが容易である
	3.2 組織としてのネットワーク・人的基盤	・組織として業務内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか － ドローンを取り巻く環境ならびにドローンの社会実装等に精通しているか ・組織として類似業務の実績があるか ・組織として業務内容に活かされる専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか	必須	20	5	15	・組織として、業務内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか － ドローンを取り巻く環境ならびにドローンの社会実装等に精通していること ・組織として類似事業実績があること ・組織として、相双地域のこれまでの経緯や現状を把握していること	・組織機としてドローンを取り巻く環境ならびにドローンの社会実装等に精通しており、デジタルライフライン全国総合整備計画を熟知した上で、ドローン航路構築に向けた役割や可能性等を提案できる ・候補となり得るドローン航路運営者や運航事業者（航路利用者）等との関係性を有し、候補者のリストアップや参画打診に強みがあること
	3.3 業務従事予定者の専門性、類似業務実績	・業務従事予定者に、業務内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか － ドローンを取り巻く環境ならびにドローンのビジネス実装等に精通しているか ・業務従事予定者に、類似業務の実績があるか ・業務従事予定者に、業務内容に活かされる専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか	必須	10	5	5	・業務従事予定者に、業務内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積、資格の取得、または類似業務実績があるか	・業務従事予定者に、類似業務の実績がある ・業務従事予定者に、業務内容に活かされる専門知識、ノウハウ等の蓄積がある － ドローンを取り巻く環境ならびにドローンの社会実装等に精通しており、デジタルライフライン全国総合整備計画を熟知した上で、ドローン航路構築に向けた役割や可能性等を提案できる
	3.4 業務遂行のための経営基盤・管理体制	・業務遂行のための経営基盤を有しているか ・適切な情報管理体制を有しているか ・一定以上の資金・設備を有しているか ・管理体制について優れているか。（情報管理に関する規定の運用をモニタリングしているか。補助金業務であることを鑑み、支出の管理が重要であるため、支出に係る証拠書類等の整理・保管体制等を有しているか。）	必須	10	5	5	・事業を遂行する部門の他、管理部門、内部統制部門等があり、管理、統制されている組織であること ・情報管理に関する社内規程がある、情報管理に関する資格を取得している等、情報管理体制があること	・一定以上の資金・設備を有している（従業員数に対する資本金が常識的範囲内であり、調査端末（PC等）がある、など） ・情報管理について公的な資格（ISO認証等）を取得している ・経理処理・管理の体制が確立している（社内別組織として整理している、経理処理システムを導入している、帳票類の管理・保管ルールがある、など）